

経営比較分析表

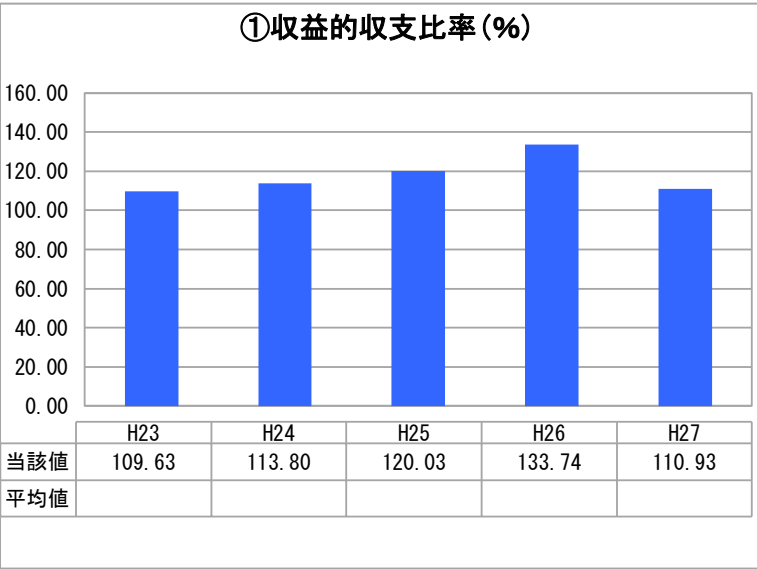
東京都 府中市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	
法非適用	下水道事業	公共下水道	Ab	
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	100.00	101.53	892

人口（人）	面積 (km ²)	人口密度 (人/km ²)
256,748	29.43	8,724.02
処理区域内人口 (人)	処理区域面積 (km ²)	処理区域内人口密度 (人/km ²)
257,318	27.25	9,442.86

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 平成27年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



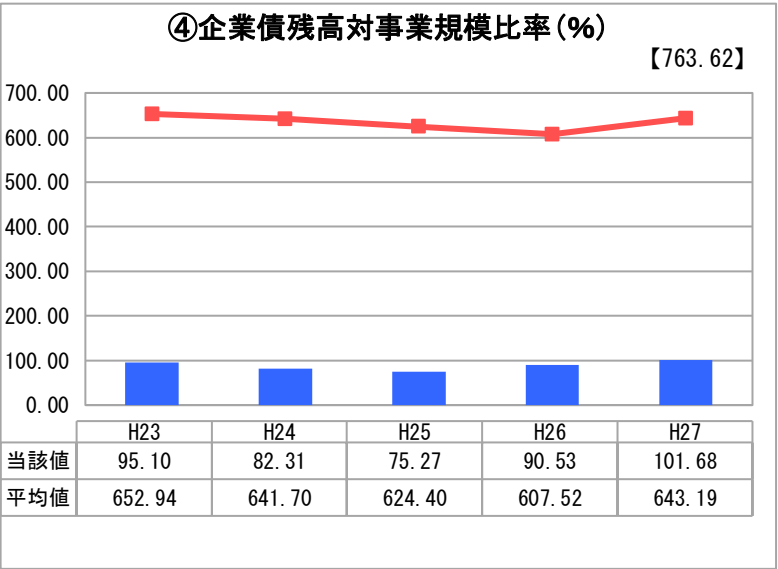
「単年度の収支」



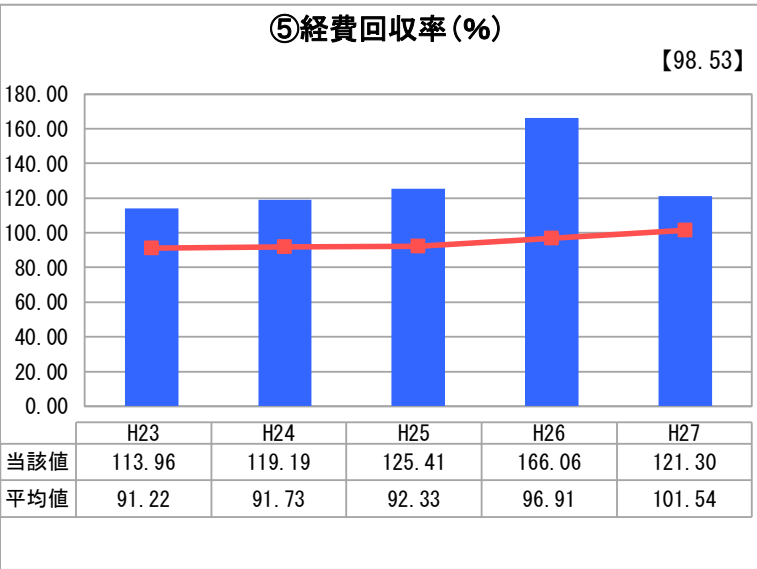
「累積欠損」



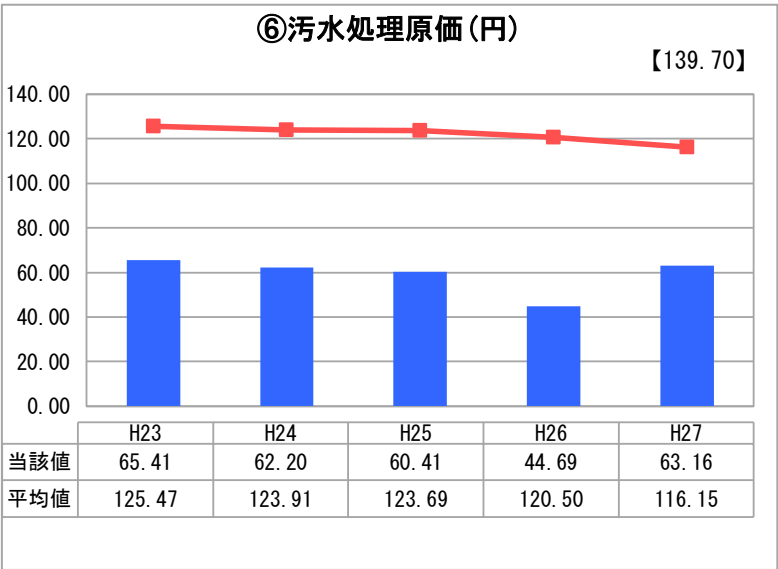
「支払能力」



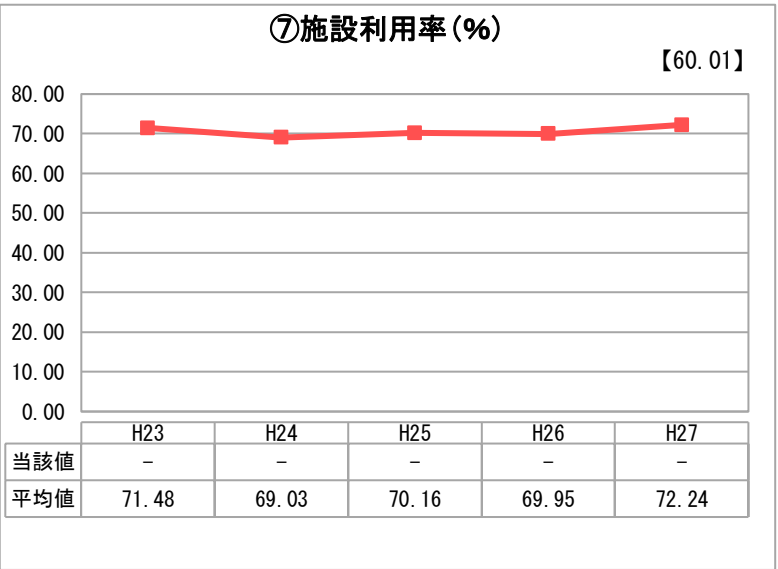
「債務残高」



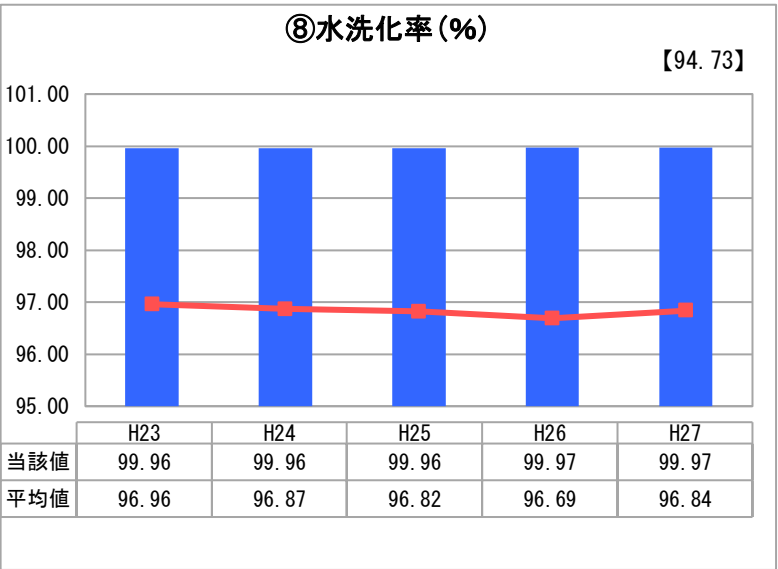
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」



「施設の効率性」



「使用料対象の捕捉」

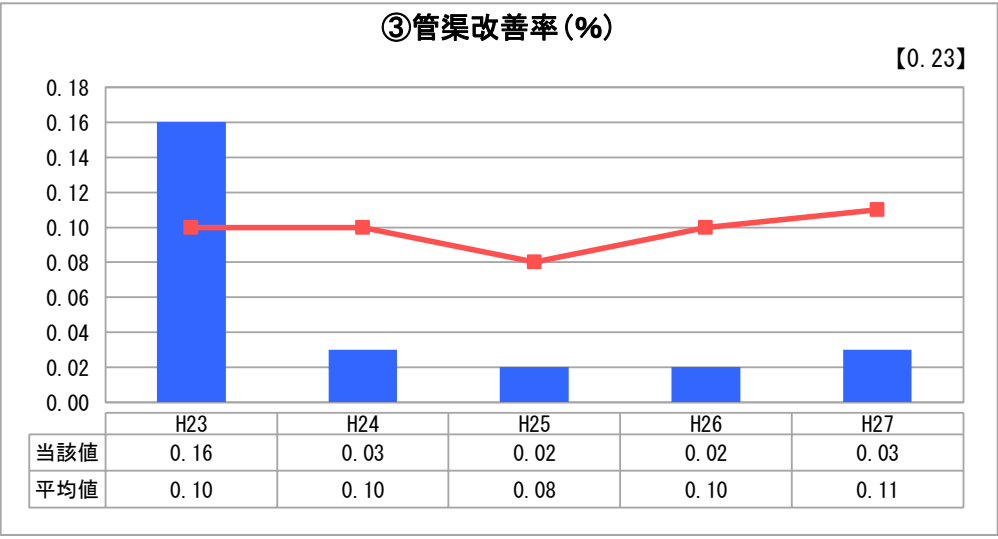
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

1. 経営の健全性・効率性について

収益的収支比率については、100%を超えており、経営の健全性を示していると言えます。しかし、今後、施設の更新等に係る経費が増大してくることを考慮すると、経費節約等更なる経営改善が必要となります。

企業債残高対事業規模比率について、平均値に比べ低い水準を維持しています。

経費回収率及び汚水処理原価については、良好な数値であり、1か月20m³当たりの家庭料金が多摩26市で最も低い料金であることの裏づけとも言えます。

水洗化率については、ほぼ100%であり、昭和59年度に普及率100%を実現して以来、市民の良好な生活環境を確保しています。

2. 老朽化の状況について

事業着手した昭和39年度施工の下水道管が平成26年度に、50年を経過し、今後20年間に、約半数の下水道管が、耐用年数とされる50年を迎えることになります。

老朽化した下水道施設の維持管理には、発生対応型だけではなく、調査や清掃、修繕等を充実させる予防保全型の管理を実施します。

管渠改善率は、老朽化対応のため、今後、更新をしていくことから、上昇していくことが予想されます。

全体総括

経営状況は、良好と言えますが、耐用年数を迎える多くの下水道施設の維持管理には、莫大な費用が見込まれるため、より一層の財政運営の努力が望まれます。

また、公営企業会計の適用に向け、財政基盤の安定が必要となってきます。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

※ 平成23年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。